

## コラム15：【言葉のキャッチボール】

お友達とおしゃべりする時、「この人とだったらいつまでも話が尽きない！」という人がいませんか？

あっという間に時間が過ぎてしまうくらい、いつも楽しくおしゃべりできる人がお友達にいたら、なんて素敵なことでしょうか。

でも、なぜそう思えるのでしょうか。「仲がいい」ということは言い換えると「コミュニケーションがとても上手くいつている」状態だといえます。言葉のキャッチボールが上手ということです。

実際のキャッチボールは、二人がお互いに受け止めやすいボールを投げれば、長く続きます。相手の様子をよく観察して投げる強さや高さを調節していきます。

言葉のキャッチボールにも共通点があります。相手が聞き取りやすいスピードで話し、相手が興味を持つこと、好きなことを話題にできれば、おしゃべりは楽しく続きます。

このとき、「私は～が好きだけど、あなたは何が好きですか？」など、自分のことを少し話してから質問すると、相手も受け止めやすいでしょう。

お子さんとのコミュニケーションは、あれこれ聞き出そうとして、矢継ぎ早に話しかけてしまうと、会話が一方通行になってしまい、双方でコミュニケーションがとれなくなるので、お子さんを見無口にさせてしまいます。お子さんが取りやすいボールを投げるつもりで、「キャッチボール」による会話を楽しんでみてください。